



私の3冊

藤田真樹

後輩に薦める2冊

齋藤さわ子（著）

作業療法士になろう！ 青弓社，2017年刊

作業療法士を目指す学生に向けた1冊です。作業療法士のアイデンティティに迷った時，魅力を再確認したい時に開くとよい本だと思います。作業療法士の概要や介入，海外の作業療法の考え方についても簡単な言葉で書かれているので新人作業療法士にお薦めです。私はこの本を読んで改めて作業療法士になってよかったなと思いました。

実践に役立つ！生活行為向上マネジメント

作業療法ジャーナル7月増刊号（第50巻第8号）

三輪書店，2016年発行

作業療法のアイデンティティをより明確に「見える化」した「作業療法の30cmものさし」である生活行為向上マネジメントを総論と実践に分けてまとめた1冊です。日本作業療法士協会は，2008～2013年にかけて作業療法士が行うリハビリテーション「意味ある作業を獲得する」について入院中から在宅生活に至るまで一貫して行えるツールの開発・検証を行いました。実践もまとめられているので参考になるとと思います。

自分の1冊

白田喜久江（著），藤原 茂（編著）

なんでもできる片まひの生活 くらしが変わる知恵袋

青海社，2003年刊

私が作業療法士になった初期から参考にさせてもらっている本です。片麻痺の方の生活の再構築をサポートしていく時に，ご本人が自身の力を信じきれず「できる気がしない」と消極になることがあります。その際，この本を開いてもらうとイメージがつきやすいように感じます。写真が多く具体的に試してみることができるので，実際場面でこの動作ができるようになったからこれもできるのでは？ と提案しています。

■ ふじた・まき 作業療法士20年目 三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック

現在は生活期の訪問作業療法を行っています。これまで大学付属病院でさまざまな疾患の方に対する急性期の作業療法および外来の作業療法を実施。1年間イギリスでの地域リハビリテーションのボランティア参加を経て帰国後地域リハビリテーションセンターへ勤務。その後は主体性をもった生活の再構築をサポートする視点を大切に仕事をしています。